

～ お父さんたちのおしゃべりルーム感想～



北海道自閉症協会・副会長 山瀬正己

このたび、新企画おしゃべりルーム「お父さんコーナー」の進行役を担当させていただきました、山瀬と申します。午前中、おがるの加藤所長の「発達が気になる子のための子育て講座」があり、とても元気になるお話を聞いた後、札幌ポプラ会おしゃべりルーム、ドンマイの会、クローバー、いーよのメンター相談会、そして、「お父さんコーナー」に分かれて、フリートークキングに入りました。

新企画の「お父さんコーナー」は、全部で6名の参加となりました。小学校中学年のお子さんをお持ちのお父さん2名、就学前のお子さんをお持ちのお父さん2名、そして、アスペルガーの診断を受けられた成人の方、そして、21才の社会人の息子の父親(山瀬)の6人でした。一人っ子の方もいれば、きょうだいのいる方もいらっしゃいます。

初めの段階では、なかなか順番が守れない、感覚が過敏、こだわりがないのが逆に心配、自傷行為がある、環境の変化に弱い・・・など、心配なこと、困っていることなどが話題の中心でしたが、次第に、数字が好き、歴史の年号を覚えるのが得意、乗り物が大好きなど、得意なこと好きなことへと話題がシフトしていきました。

最後の一人一言タイムでは、「お父さんのおしゃべりルーム、またやってほしい。」との声も出て、お父さん同士の交流の中から、それぞれの情報を交換し合うことで、考え方が整理されたり、ヒントが得られたりと・・・、いろいろな刺激があるように思いました。研修会、講演会での学習も大切ですが、プラス座談会のような参加型の企画の中から、お子さんの良い所に気付いたり、主体的な関わり方など、相互理解の安心感を共有できる場面もたくさんあり、貴重な時間だと感じました。今後もこのような企画を開催できると良いですね。

